

【鹿児島県伊仙町】

校務DX計画

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言及び「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」による自己点検結果を踏まえ、校務DXに関し、下記のとおり計画します。

1. 汎用クラウドツール活用による教職員間での情報交換の励行や会議資料のペーパーレス化、および民間企業向けクラウドツールの転用による校務処理の負担軽減

- ① クラウドツールの活用を教育委員会として進めているが、使用するとトラブル等が発生しているため、その使用方法及び設定についてのマニュアルを作成等した上での活用を進める。
- ② 県域アカウントの活用による Microsoft Teams の利活用や、校務支援システムの導入によるペーパーレス化の促進、FAXの利用廃止（緊急時除く）が進んでおり、また教職員間での情報交換の基盤は整備済みのため、今後はさらなる利活用に向け、情報を共有していく。
- ③ 統合型ではないが、校務支援システムは既に導入しているため、校務処理の負担軽減になっているが、押印が必要なものもまだあるため、規則等の改正による押印の見直しを進める。
- ④ 異動における職員の専門知識不足によるICT関連システムの利活用が追いつかない側面はある事から、予算次第ではあるが、専門的人員教育委員会の業務効率化を図る。
- ⑤ 保護者アンケートについては、汎用クラウドツールを活用し実施されている学校が増加している。

2. 学校と保護者間の連絡手段のデジタル化

学校及び教職員と保護者との連絡手段については、各校で利用は進んでいるが、まだ全校には至っていないため、民間の連絡アプリの情報を集め、未採用校へ情報共有していく。